

No.127
2017
Winter

Hachinohe
Institute
of
Technology
Press
SOUKYU

蒼穹

学校法人八戸工業大学 広報

H. I. T. Communication



CONTENTS

八戸工業大学

- p2-3 新年を迎えて／新成人メッセージ／八戸工高と協定締結／まちづくり覚書締結／デザイン系新学科構想中!!／朝市でポスターセッション／COC＋「イノベーション・ベンチャー・アイデアコンテスト2016」／自動車整備コンテスト上位独占
- p4-5 バレーボール得点王／TOEIC 勉強法／ビジネスアイデアコンテスト／アイスホッケー部インカレ出場／学生デザイン住宅／瀋陽工大訪問／アリ操縦ロボット／サークル紹介（弓道部・映像研究部）／彩才祭を終えて／学園祭表彰／校友会新役員
- p6-7 食用菊の研究と活用／技術士会との協定締結／高大連携／就職支援／国際フロンティア奨励賞受賞／ブックセンター事業参加／同窓生の集い／産学連携表彰／進学相談会／春のオープンキャンパス／入試日程／来学者状況／行事予定
- p8-9 **カラーページ**
「八戸工大二高美術コース誌上卒業制作展」

八戸工業大学第一高等学校

- p10-11 創立60周年記念式典／工大一祭／三部展＋1／1学年宿泊研修／2学年修学旅行／3学年社会人になるにあたっての研修／進路状況中間報告／日韓体操競技交流事業参加／種市君ドラフト指名／小型人工衛星打ち上げプロジェクト

八戸工業大学第二高等学校

- p12-13 進路状況中間報告／高校生議会ワークショップ／中庭デッキ完成／ボランティア活動（岩泉町／B-1 グランプリ）／島康子氏講演会／1年キャリアサポ／第31回美術コース作品展

さくら幼稚園

- p14-15 はっぴょうかい／かたぐるま／ようちえんってこんなところ／とらんぼりん
- p16 理事会報告

Mobile & iPhone & Android
モバイルサイトへアクセス▶▶▶



新年を迎えて ～地域とともに生きる大学～



八戸工業大学学長
長谷川 明

新年、あけましておめでとうございます。

今年も、みなさんが健康で幸せであることを願っています。

また、学生諸君がそれぞれの目標に向かって努力され、知識や技術だけではなく豊かな人間性をもつ人材として、成長されることを願っています。

昨年も、熊本地震、鳥取地震、東北直撃台風など災害が多く発生しました。卒業生の方々から、「復旧や復興のため、行ってきます。」とのメールをいただきました。卒業生の社会での活躍は、たのしくもあり、うれしくもあります。元気で活躍され、それぞれの地域が早く復

興されることを祈っています。

現役の学生諸君も、大きな成果を上げてくれています。スポーツでは、卓球、硬式野球、バレーボール、アイスホッケーなど、文化活動では、市内ショッピングセンターで開催された彩才祭など、また、自動車整備コンテストでの上位独占入賞などです。先生方も、学会表彰を受けるなど、うれしいニュースをいただきました。もちろん、教育改善活動も、文部科学省の補助を受けた教育改革再生加速プログラム(AP)も続いています。さらに、産学連携充実のため、八戸工業大学地域産業総合研究所産学連携プラザが市内中心街に開設され活動が始まりました。

大学をより発展させるために、平成30年4月に新しく「地域づくり学科」を開設する構想を準備中です。本学は、創設から45年間にわたって、地域の人材育成と地域の課題解決のための研究活動を行って地域に貢献してきました。その教育研究活動は、工学と感性デザインを中心に展開されてきましたが、これをより広く発展させるために、感性デザイン学部にも、新しく「地域づくり学科」を開設します。(詳細は別記事をご覧ください。)

これからも、「地域の人材は地域から、地域の課題は地域で」をモットーに、八戸工業大学は発展していきます。本年も、よろしくお願い致します。

新成人として



私の愛読書の中に「若いうちに、さまざまな苦勞を買ってでもやっておくことだ。」という言葉があります。大変だけど、全力で挑戦し、もし失敗する事があるとしても、自分のためと受け止め、ひとつひとつ丁寧に取り組むこと。ゆとり世代の僕たちが、社会で認められ一人前になるた

めには、人一倍努力し、経験や知識を積み重ね、活かしていくことが大事です。成人式を迎えたことを心に刻み、大人としての責任を担うとともに、社会で役に立つ人材となれるよう日々精進し、今まで支えてくれた両親、友人そして社会に対して恩返しできるようになりたいと思います。

磯谷 晴規 (システム情報工学科2年/八戸西高)

県立八戸工高と「教育と研究に関する連携協定」

11月28日、青森県立八戸工業高等学校(一戸利則校長)と本学は教育や研究面の協力関係を強化する「教育と研究に関する連携協定書」に署名、締結した。高校との協定締結は岩手県立種市高等学校について2校目、県内の高校とは初である。

両者はこれまでも、高校生のインターンシップや学生の



教育実習などの人材育成の面で連携・協力を行ってきた。今後はさらに交流を深め、教員相互の資質向上や技術の高度化に対応できる地域の次世代の工業を担う技術者の育成を強化していく。

まちづくりに関する覚書締結 ～学生パワーをまちづくりへ～

10月21日、八戸市庁にて八戸市(小林眞市長)、株式会社まちづくり八戸(福島哲男代表取締役社長)と本学は、「八戸市中心市街地のまちづくりに関する覚書」を締結した。

連携の流れとしては、八戸市は中心市街地における「まちづくり」の様々な課題を抽出・選定し、本学学生が課題解決に向けたアイデアを提案し、改善方策を検討、まちづくり八戸がコーディネーターとなり提案の実施に向けて取り組んでいくものである。課外授業としてではなく、授業の課題として大学がまちづくりに取り組むのは今回が初めてである。今年度は、土木建築工学科土木工学コースの3年生6人が、「花

小路整備の調査・計画」を課題として取り上げる。担当教員は、「今後、他学科とのコラボレーションも行って、まちづくりや人材育成を目指したい」と語った。



デザイン系新学科構想中!!

◆ なぜ「地域づくり」？

地域はいま、超高齢社会かつ人口減少社会を迎え、これまでの仕組み・やり方・スピード感では、問題は解決できないところまで来ています。

◆ 足りヌ足りヌハ、工夫が足りヌ？

地域の課題を解決しようとするとき、予算がない、就職先がない、人材がいけないなど「足りない、足りない」という声を聞きます。いまこそ地域には、知恵を絞る、工夫をする、また地域で活躍できる人材を育てるという観点から、地域系の学部や学科が必要です。

◆ デザイン系の学部で「地域づくり」？

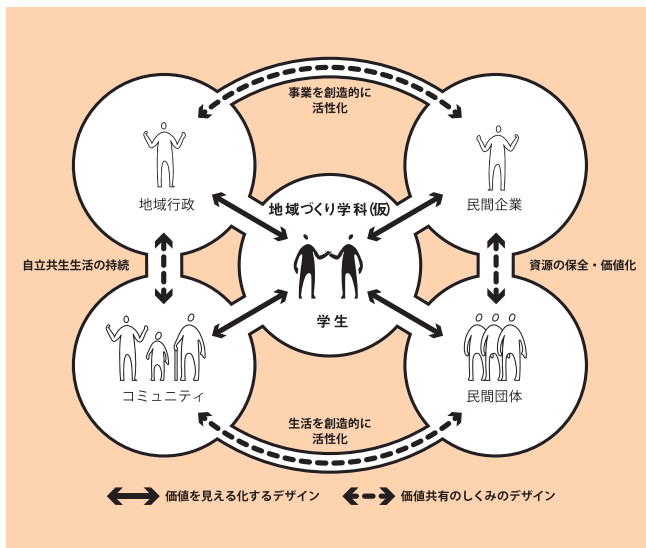
近年、デザイン思考 (design thinking) と呼ばれる課題解決手法が脚光を浴び、米国スタンフォード大学を皮切りに、東大、京大などトップスクールが取り組み始めました。

本学ではこれまでも、技術力で多くの地域貢献を行っており、地域づくりに貢献できるシーズも兼ね備えてきました。現行の感性デザイン学科でも、「八幡馬のリデザイン」、「裂織 FUTURE ワークショップ」、「クラフト・ワークショップ (森を守る活動のデザイン)」など地域に根ざした活動を実践してきました。

そこで、感性デザイン学部がハブとなり、地域に必要な、調査・分析、アイディアの創出からデザイン思考、プロトタ

イプ実践のアシスト、さらなる可能性へとつなげることを使命とし、地域のデザインセンターとして機能できることを目指しています。(下図参照)

新学科はその核として機能すべく、地域での実践を授業に生かし貢献する事を特長に、地域で活躍できる人材を育成していきたいと考えます。



館鼻朝市で、ポスターセッション

～第7回日本デザイン学会第1支部大会 in 八戸～

「第7回日本デザイン学会第1支部大会」が、10月15日と16日の朝市でにぎわう早朝の館鼻岸壁で開催された。会場では本学や公立はこだて未来大学の学生によるポスター発表が行われた。学生たちは朝市を訪れた一般の人々とセッションを繰り返していた。

朝市を訪れた人々の中には、珍しい朝市での学会発表に足を止め、興味津々に熱く意見交換している方もいた。日本屈指の館鼻岸壁の朝市は、アートの街はちのへにあらたな一面を魅せるコミュニケーション創出の場となった。



COC+「イノベーション・ベンチャー・アイデアコンテスト2016」

12月11日、八戸パークホテルにて COC+「イノベーション・ベンチャー・アイデアコンテスト2016」が開催され、本学学生グループ発表の提案が準グランプリ賞に輝いた。

提案題目：寒冷地での農業支援の為にインターネットと携帯電話網にて遠隔監視可能な土壌に敷設した温床線の高安定・高精度な温度制御システム

受賞グループ：電気電子システム学科

若沢 卓道 (発表者/4年/八戸工大一高)

新谷 聖 (4年/青森工高)

佐藤 孝哉 (3年/三沢商高)

鈴木 孝嗣 (1年/八戸工大一高)

快挙！2年連続上位独占 自動車整備コンテスト

10月22日(土)、宮城県仙台市で行われた第31回自動車整備コンテストで、機械情報技術学科 (自動車工学コース) の学生たちが2年連続で第1位獲得、参加15チーム中上位6位までを独占した。コンテストは、学科試験と自動車の冷却水やオイルの判別など4項目の実技試験での得点の合計で争わ



れた。指導教員は「31回を数える大会の間には、入賞も参加もできない苦しい時代もあったが、学生のチームワークと互い

が切磋琢磨する熱意が入賞という結果につながった」と語る。学生からの「コンテスト前は休日返上で、授業後も大学に残って整備の訓練や学科の勉強に励んだ。来年は3連覇を達成したい。」の言葉からは、上位入賞を伝統として引き継ぐプレッシャーと力強さが伝わってきた。

1位:高橋 将志(4年/秋田・大曲工高)、井澤 芳樹(4年/山形・蔵王高)

2位:時安 優平(4年/北海道・江陵高)、前田 裕哉(4年/八戸工大一高)

3位:寺井 優大(3年/八戸工大二高)、浦田 混平(3年/大検)

4位:田代 優太(4年/八戸工高)、藤原 拓也(3年/岩手・紫波総合高)

4位:坂本 諒太(3年/八戸工大一高)、中山 佳也里(3年/八戸工大二高)

6位:田代 永樹(4年/八戸工大一高)、石井 裕一郎(4年/大検)

バレーボール東北1部リーグの得点王に！ ～第49回東北バレーボール大学男女リーグ戦 第5位～

本学バレーボール部は、第49回東北バレーボール大学男女リーグ戦において、強豪大学との熱戦を勝ち抜き、第5位の戦績を上げて、来季1部優勝へのバトンをつないだ。

また、チームのエース松澤祥希さん（電気電子システム学科3年／弘前工高・前列中央）が、今季リーグ戦において138得点をあげ、ベストスコアラール賞第1位に輝いた。

同部は、天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会青森県予選会優勝、同東北ブロック大会第3位を獲得するなど、活躍が続いている。



TOEIC 高得点勉強法



Listening を伸ばすことで、今回735点のスコアを獲得することが出来ました。

TOEIC の受験は3回目で、気を付けたことは時間配分です。試験は時間との勝負ですから、時間が足りずに解けない問題が出ないように、試験前に綿密な時間配分を考えることは必須です。

英語の勉強は、一気に何時間も勉強するのではなく、移動中に iPod で英語を聞いたり、いわゆる隙間時間に英単語・イディオム（熟語や慣用句）を確認して意味を覚えたりと、毎日少しでも英語に触れる習慣が大事です。

「大学卒業までに730点以上」が目標のひとつで今回は達成しましたが、話す・書くスキルはまだ不足しているため、伸ばす努力をしたいと思います。今後は英検なども視野に入れ、英語のスキルアップにチャレンジしたいと考えています。

滝沢 健太（システム情報工学科3年／八戸工高）

※八戸工業大学では、TOEIC 公開試験を実施しています。

ビジネスアイデアコンテストに参加して

研修会、企業とのミーティングなどを経て、10月下旬、私たちは（一社）青森県発明協会主催「パテント活用学生人財育成事業～大学生によるビジネスアイデアコンテスト」に参加しました。これは、大手企業がもつ特許技術を使用した商品アイデアを競うものです。

はじめはビジネスアイデアについて、実態のある商品を開発、設計、販売してお金にする、という単純な構造を連想していました。しかし実際は、ビジネスモデルの構築、市場調査など、ビジネス化されるまでには綿密な計画が必要で、複雑な構造でした。また、そのアイデアが利益を生む裏付けの必要性を強く思い知らされました。



石岡 洸平（機械情報技術学科3年／青森工高定時制）

学科横断・男女混合チームで臨んだこの経験は、将来、ビジネス開発に携わる際に活かされると確信しています。本当に多くのことを学べる良いコンテストでした。

アイスホッケー部今季戦績

秋田県立スケート場を会場に11月18日（金）～20日（日）、「平成28年度東北地区学生アイスホッケー選手権大会兼第89回日本学生氷上競技選手権大会東北地区予選」が開催された。インカレ出場をかけた東北福祉大学との一戦では相手の猛攻撃に苦戦するも、「神セーブ」を連発するゴールキーパー鈴木悠生（バイオ環境工学科4年／八戸工大一高）を中心に全員一丸となり4－3で勝利した。

インカレは1月上旬、一回戦関西大学を相手に苫小牧で行われる。



学生デザインの住宅、建設へ

八戸市の住宅メーカー第一ホーム（アイフルホーム八戸店）と本学との連携事業「住宅設計プランコンテスト」で、長倉亮介さん（土木建築工学科・写真）の設計が優秀賞に選ばれた。長倉さんは社会人入学の3年生で、現在37歳。20代で



できなかった学業のやり直しと、建築士の資格取得のため、本学に入学した。長倉さんは、思いがけない受賞に驚き、喜びの笑みがこぼれたという。設計した住宅は、本年度内に完成し販売される予定。

瀋陽工業大学訪問報告

9月20日～24日の5日間、中国遼寧省瀋陽市の瀋陽工業大学を長谷川明学長とともに訪問した。訪問の目的は、学長就任の挨拶や学術交流協定の延長、本学出身教員との交流などである。瀋陽工業大学と本学との交流の歴史は長く、30年前の1986年に遡る。学術交流協定も1988年に締結されてから今回で5回目の延長となる。

学術交流協定調印式は、最も新しい中央キャンパスで行われ、張鉄岩学長、袁曉光副学長、任英磊国際交流学院院长兼国際合作处处长、李羸日本科副教授などが出席された。調印式では、長谷川学長と張学長が協議書、協定書にサインし、無事に交流協定が5年間延長された。

つぎに、興順キャンパスにおいて、瀋陽工業大学元学長および本学 OB との懇談会が行われ、王成元元学長と王爾智元学長および卒業生の王海軍先生、付景順先生、趙文輝先生、日本語研究で来学した張軍先生が出席し、教育・研究活動などについて近況を報告し合った。

今回の訪問では、瀋陽工業大学の皆様に非常に丁寧な歓待を受けた。瀋陽工業大学とは30年に及ぶ交流の歴史があり、本学の卒業生も多く在職する。今後も継続して密な交流を行っていききたいとの感想を持った。

学務部次長 小玉 成人



学術交流協定調印式



元学長、本学OBとの懇談会

アントム！活動中 ～生物に学ぶ群ロボットの研究～



藤澤講師と「アントム」

藤澤研究室（工学部機械情報技術学科）では、群ロボットの研究から生物の構築する社会構造を解明したいと、様々なトライの過程を経て、「アリ搭乗型移動ロボット」の作製に至った。アリをボール状ステージの上部中央に乗せ、アリの動きのままに本体ごと移動するというものである。このロボットは通称「アントム」。あそび心のある藤澤研究室のメンバーが、アリが自

分の意志で動かすロボットとして、「ガンダム」と「ant（蟻）」から命名した。現在アントムは、京都大学、京都産業大学、信州大学、広島大学、岡山大学などで生物分野の研究に活用されている。藤澤隆介講師は、「今後、昆虫の行動プログラムの解析やアルゴリズムを知ること、災害時、被災地での救助活動に活用できるロボットの作成に取り組みたい。」と語った。

サークル紹介

弓道部

部員は弓道経験者が大半で今年度は男女計22名となり、来季の団体戦出場も夢ではなくなりました。しかし、練習場として使用している八戸市弓道場は利用者が多く、練習場を確保できないことが大きな課題です。現在の状況では全部員揃っての実践練習は難しいですが、10月8日・9日に行われた学園祭への参加は皆の絆を深めるよい機会となりました。

部長 佐野 遼太郎
(機械情報技術学科3年/三戸高)



映像研究部

映像研究部では、2013年より八戸テレビ放送の「はちのへ CAMPUS Link ～八戸工大ライブラリ」を制作しています。2ヶ月に1本制作し、主に部活動や学内行事を紹介しています。1日取材しても編集すると5分程度で、とても手間と時間がかかりますが、達成感は最高です。現在、学園ヒーロー「HIT マン（ヒットマン）」(写真) プロジェクトを進行中です。完成したら YouTube にアップする予定ですので、ご期待下さい！

部長 及川 瑞生
(システム情報工学科3年/岩手・金ヶ崎高)



学園祭表彰

学園祭で活躍した団体に各賞が贈られました。

■学科研究展示部門

- ◇学 長 賞 藤岡研究室 (写真)
- ◇学務部長賞 信山研究室、野田研究室、ぐっ JOB NEXT ～ネクスト～

■課外活動展示部門

- ◇学 長 賞 吹奏楽部
- ◇学務部長賞 合唱部、ARTSTECH 研究部、ADL (建築デザイン研究会)



ロボットアームでお菓子のつかみ取り

第17回彩才祭を終えて

11月12日・13日、ラピア2階ラピアホールにて文化会主催「彩才祭」が開催されました。今年度は昨年度より2団体多い16団体での開催となりました。会場は500名を超える来場者で賑わいを見せ、会場を後にされた家族連れの方、年配の方など、どなたも笑顔で帰られ、無事開催できたことを喜ばしく思います。今年度の彩才祭は、宣伝や準備に苦労しましたが、みんなで協力し合い、開催することができました。この経験を糧に、来年度の彩才祭



はさらによいものに出来るよう努めていきたいと思ひます。最後に、準備・運営を行った文化会の皆さん、協力して下さった学友会並びに体育会の役員、教職員、そして参加団体の方々へ心から感謝いたします。

文化会副会長 小笠原 祐子
(システム情報工学科2年/八戸工大一高)

平成29年度 学友会・体育会・文化会新役員



学友会委員長

大高 貴文
(機械情報技術学科2年/弘前中央高)



体育会会長

本間 隼人
(電気電子システム学科3年/秋田・西仙北高)



文化会会長

小笠原 祐子
(システム情報工学科2年/八戸工大一高)

食用菊「パープルマム」の研究と地域連携

11月18日、産学連携プラザ（チノハ 戸1F）にて、公開講座「モッテ菊とスイーツの出会い in 青森～パープルマムの試験栽培と活用～」が行われた。パープルマムはモッテ菊の改良種で、紫色の食用菊である。菊花は漢方薬としても利用されており、解熱・解毒・抗菌作用など薬理作用がある。バイオ環境工学科若生豊教授は、菊花抽出物の神経細胞保護作用の研究から、「パープル

マム」など延命薬種には神経変性を抑える成分が多く含まれている」と発表。同学科学生からは、食用菊を使用したスイーツアイディアが発表された。

会場ではスイーツ作成協力の階上町の洋菓子店ラ・ドゥルセリア美松（小松國男代表）や、森田麴・味噌店による菊入り食品の試食会が行われた。菊花入り菓子は市内で販売されており、地場製品の販売促進にも期待したい。



技術士会との協定締結 ～人材育成と地域貢献へ～



9月26日、日本技術士会東北本部青森県支部と本学は、人材育成や地域貢献に関する連携・協力協定を締結した。本学は技術士会会員向けに、大学教員の研究テーマ等を題材とする CPD セミナーや研究会など定期的実施してきており、今後も地域貢献に努めていきたいと考えている。

八木橋実支部長（写真右）は「情報交換を密にし、次世代を担う若い人材の育成をともに進めていきたい」と述べた。

国際フロンティア奨励賞を受賞

基礎教育研究センター斎藤明宏講師（専門：外国語教育）が日本質の心理学会2016年度国際フロンティア奨励賞を受賞した。この賞は、若手研究者の国際発信や国際研究を奨励することを目的として授与される。受賞対象の研究発表は、“Going cosmopolitan, staying national: Identity construction in popular discourses on English as a lingua franca.”で、政策のレトリックが人々の言説・論調に与える影響を分析したものである。斎藤明宏講師は「研究成果が海外だけでなく国内でも認められたことはたいへんうれしく光榮です。今後は平和学の文脈で紛争予防をめざす外国語教育政策について研究を計画中です。」と語った。



電気工学の魅力体験 ～高大連携事業実施～

本学では、工学や技術の魅力の発掘と情報発信のひとつとして、高大連携事業を実施しており、大学生のサポートのもと、高校では使用したことが無い機器や設備を使用し、実験や実習を体験することができる。八戸工大一高工業科電気コース3学年の生徒38名は、電気電子システム学科でそれぞれの志向に合わせて6班のグループに編成され、3日間にわたり実験・実習を体験した。体験メニューには、液晶パネル、有機発光ダイオード、バイオブ

ラスティックといった本学が取り組んでいる研究や電気工作物作製などが用意された。実施後、12月16日に八戸工大一高で発表会が行われた。



就職活動支援



就職課では、就活スケジュールに合わせて、業界研究や面接対策、履歴書対策などの講座を授業の中で実施しています。また、授業外では着こなし・メイクマナー講座や近隣大学生とのグループディスカッションセミナー（写真）なども開催しています。就職課は皆さんの就職活動が円滑に進むよう、各種講座開催のほか面接練習などの個別支援も行っています。積極的にご利用ください。

八戸ブックセンター記念イベント

中心街に市営書店「八戸ブックセンター」がオープンし、12月17日記念イベント「土地の声」第1部ワークショップに本学学生2名が読み終えた指定図書を持参して参加した。八戸では、本のまちとして幼児対象のブックスタート、高校生以上のビブリオバトルなど、アートや文化推進に積極的である。本学学生がビブリオバトル初代のチャンプになっている。



同窓生の集う会、旧交を温め

今年度も、八戸同窓生の集う会をはじめ、北海道支部・北海道南部会・秋田支部・東北支部・関東支部の6会場において同窓会が開催され、総勢約300名の参加者があり各会場とも大盛会で終了いたしました。今後、北海道道東部会において同窓会が3月に開催

される予定ですので、(大学HPにて日程を掲載します)お近くの方はご参加ください。初めての方もぜひご参加ください。来年度も今年度以上に盛大に開催したいと思っております。

(八戸工業大学同窓会)



八戸会場



東北会場



秋田会場



関東会場

平成28年度進学相談会

会場名	開催地	実施日	時 間
弘前市民文化交流館	弘 前 市	2017年2月6日(月)	15:30～18:00
ホテルサンルート五所川原	五 所 川 原 市	2017年2月7日(火)	15:30～18:00
アルヴェ	秋 田 市	2017年2月9日(木)	15:30～18:00
プラザ都	能 代 市	2017年2月13日(月)	15:30～18:00
ホテルメトロポリタン盛岡	盛 岡 市	2017年2月21日(火)	15:30～18:00
一関文化センター	一 関 市	2017年2月22日(水)	15:30～18:00
ベリーノホテル一関	一 関 市	2017年3月8日(水)	13:00～17:00

平成29年度入試日程

工学部・感性デザイン学部 問合せ先 入試部入試課 0178-25-8000

選 抜 方 法		願書受付期間 (必着)	試 験 日
一般入試	後 期	2017年3月1日(水)～3月13日(月)	2017年3月22日(水)
センター 利用入試	中 期※	2017年2月1日(水)～2月17日(金)	2017年1月14日(土)・ 15日(日)の大学入試セ ンター試験。本学の個別 試験は課さない。
	後 期	2017年3月1日(水)～3月21日(火)	
選 抜 方 法		エントリーカード受付期間 (必着)	面 談 日
AO入試	第4クール	2017年1月30日(月)～2月3日(金)	2017年2月10日(金)
	第5クール	2017年3月1日(水)～3月10日(金)	2017年3月17日(金)

※学業特待生選考試験を兼ねる

産学連携貢献に表彰

〇産学連携活動貢献賞

「自然観光資源調査及び地域と連携した奥入瀬渓流のブランドイメージ構築活動」

バイオ環境工学科 鮎川 恵理 准教授
感性デザイン学科 横溝 賢 准教授

〇工業技術貢献賞

「伝統工法による文化財建造物保存活動」

株式会社松本工務店
清水 栄作 氏 (写真)
(建築工学科平成9年
3月卒業)



春のオープンキャンパス

今年も学生が主体となり、来場者の皆さんをご案内します。ぜひ、ご家族でお越しください。

日時：2017年3月18日(土)

10:00～14:00

会場：八戸工業大学

問合せ先 入試部入試課

0178-25-8000 (直通)



来学ありがとうございます

大学見学会

(2016年12月7日現在)

を始め、多くの方に来学いただいております。

出張講義等も行っております

で、詳しくは大学HP(トップページ→研究・社会連携→出張講義)をご覧ください。

参考：大学HP < <http://www.hi-tech.ac.jp/> >

	参加者数(人)	
大学見学会(高校生)	886	13校
大学見学会(保護者)	50	2団体
インターンシップ	248	4校
高大連携事業	318	4校
体験講義	250	2校
計	1,752	

行事予定 2月～4月

- 2月** 10日(金) AO第4クール入試
21日(火)・22日(水) 大学院入試
- 3月** 9日(木)・10日(金) 就職懇談会
17日(金) AO第5クール入試
18日(土) 春のオープンキャンパス
21日(火) 学位記授与式
22日(水) 一般入試(後期)
- 4月** 4日(火) 入学式
5日(水)・6日(木) ガイダンス



「津軽／太宰治 ポスター」CG／B1
山下 蓮佳（湊中）



「ガイコツ照明」照明器具
小又 棕（下長中）



「2019 新八戸市美術館
記念ボトルデザイン計画」CG／B1
阿部 愛加（白山台中）



「自分探しの旅に
行ってきます」アクリル／B3
今井 望晴（根城中）



「八戸新屋内アイススケートリンク場
CI デザイン」CG／B1
鶴飼 かおり（白銀南中）



「crystal」CG／B1
東山 元心（種市中）



「キク」アクリル／B2
高森 さくら（白銀南中）



「偽と創造美の調和」日本画／F50
安保 泉里（福地中）



「呑み」油彩／F50
馬場 来夢（三沢第二中）



「子どもと〇〇」水彩／S8×6
小笠原 咲綾（是川中）



「GET it OUT」アクリル／F50
清水 海里（長内中）



「父」日本画／F40
吉田 朋加（百石中）



「emotion」油彩／F50
原子 ひかる（八戸第三中）



「船」油彩／F50
平内 知佳（百石中）



「穏やかな記憶」油彩／F50
中野 幸紀（中野中）



「フリーペーパー『五八〇』」CG／A4
田茂 結羽（下長中）



「パリの夜景」アクリル／B1
三浦 朋美（階上中）



「夏」アクリル／B1
福山 遥南（根城中）



「Space-time」水彩／B1
佐々木 和奏（南部中）



「COSMIC PUG」アクリル／F50
渡邊 百花（見前南中）

創立60周年記念式典



10月22日、八戸市公会堂において、来賓350名をお迎えし、生徒・教職員共に創立60周年記念式典を挙行了た。

最初に、本校に貢献された物故者に対し黙祷を捧げた。次に岩崎校長が「正己以格物の建学の精神のもと、文武両道の特色教育の伝統を踏まえつつ、グローバルな新時代を見据え、共生と創造の力を教師と生徒が一体となって実現し、地域の方々から期待され続ける学校を目指して参りたい」との式辞を述べた。続いて柳谷利通理事長から、社会の負託と時代の要請に応えさらに発展すべく決意と、学校発展のために貢献のあった関係各位にお礼の言葉が述べられた。その後、歴代校長、教育活動支援団体、個人、外郭団体、学校医、特別協賛企業、永年勤続者に感謝状が、部

活動功労者に表彰状が贈呈された。さらに来賓代表として、衆議院議長 大島理森氏、参議院議員 田名部匡代氏、青森県知事 三村申吾氏（代理・青森県総務部次長）、八戸市長 小林眞氏からそれぞれ祝辞をいただいた。そして生徒を代表し、船越一輝君（3年電気コース／佐井中（写真右上））が「諸先輩方の積み重ねてきた伝統を礎に、新たな伝統を築き上げなければならない。そして、多くのことを学んで人間力を磨き、何事においても決して諦めることなく、社会に貢献できる人になりたい」と未来に羽ばたく決意を述べた。

式典後には同会場で、航空自衛隊北部航空音楽隊と本校吹奏楽部による記念演奏会が行われた。

第47回 工大一祭

広げよう仲間の絆
創り出そう青春の1ページ



10月29日・30日、第47回工大一祭が開催された。1500名余りの来場者を迎え、例年よりも一段と活気に満ち溢れていた。創立60周年ということもあり、文化部や各科・各学年を中心にそれぞれの特色を打ち出した熱の入った展示が目立った。また、3年生女子による創作ダンスは、発表の間際まで熱のこもった練習が重ねられ、本番では迫力のある踊りに大きな拍手が送られた。

第36回 三部展+1

12月17日・18日、八戸ポータルミュージアム「はっち」シアター2において、三部展+1が開催された。今年度は写真部・美術部・放送部に加え、JRC部とパソコン部が参加した。写真部は県高総文祭での優秀賞受賞作品を、美術部はアクリル画をそれぞれ展示し、放送部は絵本の朗読等を行った。また、JRC部は防災に関する展示、パソコン部は人工衛星打ち上げプロジェクトの制作状況を展示した。来場者は熱心に展示作品を観覧し、生徒に制作意図をたずねる場面も多く見られるなど、関心の高さを感じさせた。



1 学年 宿泊研修

未来設計をする

12月7日～9日、国立岩手山青少年交流の家において、「未来設計」をテーマに宿泊研修が行われた。自分自身を知ることから始まり、大人として求められることは何か、ということについて真剣に考えていた。生徒は集団生活をしていく中で、自主性・協調性を養い、仲間や先生との絆を深めることができたようであった。



2 学年 修学旅行

平和教育の旅

12月5日～9日、関西方面を中心とした修学旅行を実施。一路広島へ向かった。原爆ドームや平和記念資料館を見学した生徒達は、戦争の悲惨な記録や写真を目の当たりにし、日常が平和であることの尊さを実感していた。平和祈念セレモニーでは千羽鶴を献納し、戦没者へ鎮魂の祈りを捧げた。



3 学年 研修

社会人になるにあたって

12月7日～9日、校内・外において、冠婚葬祭や身だしなみ・選挙・ホテルにおいてのテーブルマナーなど、社会生活に必要なとされる研修を行った。特に一日目は、「依存から自立へ」というテーマで、自分で考え行動に移していくという難しい内容であった。この研修によって、生徒は自覚を持つことの重要性を再確認し、周りに依存している自分を見つめ直す良い機会となった。



進路状況中間報告 就職内定100%

今年度の進路希望状況は、進学45%、就職55%であった。進学については、八戸工業大学をはじめ、早稲田大学、明治大学、日本体育大学等80%が決定した。就職については、県内・外の企業から活発な求人があった。この現象は東京オリンピック開催の年まで続くと言われていた。しかしどのような状況であれ、生徒一人ひとりが目標を持ち頑張った成果が、12月中に100%内定という結果に結びついたと思われる。

進路指導部長 掛端 秀彦

就 職

〈県内企業〉
(医法) 杏林会
エム・ピー・エム・オペレーション㈱
テクノクラフトシーアンドヴィ
プライフーズ㈱
(株)サンデー
(株)シェルビー
(株)高橋製作所
(株)七洋
(株)菅原ディーゼル
(株)田名部組
高周波製造㈱
合同酒精㈱酵素医薬品工場
三浦建設工業㈱
三菱製紙エンジニアリング㈱
太平洋金属㈱
東京鉄鋼㈱八戸工場
東北三吉工業㈱

八戸セメント㈱
八戸港湾運送㈱
八戸製錬㈱八戸製錬所
北辰工業㈱
寺下建設㈱
石上建設㈱
太子食品工業㈱
八戸通運㈱ / 他
〈県外企業〉
JR盛岡鉄道サービス㈱
いすゞ自動車㈱
ジャパマリンユニテッド㈱
トヨタ自動車㈱
(株)JFEウイング
(株)パシフィックコミュニケーションプロダク
(株)第一ビルメンテナンス
(株)武部鉄工所
新日本無線㈱
新日鐵住金㈱鹿島製鉄所

日産自動車㈱
日野自動車㈱
富士重工業㈱群馬工場
(株)インテック
(株)ベネッセスタイルケア
三進工業㈱
東京動力㈱
(株)全日警 / 他
〈公務員〉
陸上自衛隊
海上自衛隊

進 学

中央大学
天理大学
東北学院大学
東北福祉大学
日本体育大学
日本大学
富士大学
明治大学
仙台大学 / 他
〈短期大学〉
仙台青葉学院短期大学
鶴川女子短期大学 / 他
〈専門学校〉
八戸工科学院
東北メディカル学院
八戸理容美容専門学校 / 他
大東文化大学

日韓体操競技交流事業参加



私は12月23日～28日、スポーツ庁の事業の一環として行われた日韓体操競技交流事業の派遣メンバーとして、ソウル特別市ソウル体育高校で行われた合宿に参加しました。最初は韓国の選手と話したくても言葉が分からず、話しかけられずにいました。こちらの様子を察してくれたのか、韓国の選手は携帯電話の翻訳機能を使って話しかけてくれ、とても嬉しかったです。体操の技の習得は勿論ですが、コミュニケーションをとることの大切さを知りました。とても充実した時間を過ごし、貴重な体験をしたと思います。

古川 隆司 (2年建築コース/八戸一中)

種市君ドラフト指名

10月20日、プロ野球ドラフト会議が行われ、硬式野球部種市篤暉君 (3年建築コース/三沢二中) が千葉ロッテマリーンズから6位指名を受け、11月25日、八戸パークホテルにおいて保護者同席で球団側と仮契約を交わした。記者会見の中で「青森の子ども達に夢や希望を与えられる選手になりたい」という抱負と共に、厳しい新たな道へ踏み出す決意を述べた。



小型人工衛星 打ち上げプロジェクト

～ 製作協力校会議報告 ～

12月25日、東京飯田橋にある工業教育会館において、小型人工衛星製作プロジェクトに参加している全国11校による今年度2回目の会議が開かれた。各校が設計・製作したブレッド・ボード・モデル (人工衛星の基板を作るために必要な電子回路) を持ち寄り、それぞれの担当した部分が他と上手くつながるかどうかの接続試験や、地上からのコマンドを受け、対応したデータをモジュールで地上に送る動作試験を行った。その結果、しっかりモジュールが機能していることが確認できた。

工業科長 上野 毅稔

進路状況中間報告

～推薦・AO入試、就職内定状況～

平成29年度入試の推薦・AO入試の結果が出そろった。12月12日現在、国公立大学に19名、私立大学66名が合格を果たしている。就職では31名の内定が決定しており、特に今年は公務員の合格が目立つ。これからセンター試験・一般試験に臨む生徒たちも多数おり、最後の追い込み時期を迎えている。一般入試の結果は3月以降に確定する。

【国公立大学 19名合格】

北海道教育大学旭川校、北海道教育大学札幌校、室蘭工業大学、はこだて未来大学、青森県立保健大学2名、青森公立大学2名、岩手大学5名、秋田公立美術大学、山形大学、群馬県立女子大学、筑波大学、東京学芸大学、長岡造形大学

【国公立短期大学 1名合格】

山形県立米沢女子短期大学

【私立大学 66名合格】

八戸工業大学15名、岩手医科大学2名、宮城学院女子大学4名、東北学院大学3名、東北芸術工科大学3名、日赤秋田看護大学、国際医療福祉大学、麻布大学、東京農業大学、日本大学2名、駒澤大学、法政大学、多摩美術大学、武蔵野美術大学2名、東京造形大学 他

【私立短期大学】

青森明の星短期大学、八戸学院短期大学3名、秋田栄養短期大学、仙台青葉学院短期大学、女子栄養大学短期大学部

【専門学校・各種学校】

八戸工科学院3名、アレック情報ビジネス学院3名、八戸理容美容専門学校、国際医療福祉専門学校、仙台医療秘書福祉専門学校 他

【就職】

自衛官候補生4名、横浜市職員、東京都特別区職員、八戸広域消防、神奈川県警、警視庁、(株)エプソンアトミックス2名、(株)みなとや、(株)葉王堂、八戸農業協同組合、(株)プリンスホテル、中部飼料(株)、一般財団法人空港保安事業センター、(株)オートガード八戸、信和工業(株)、(株)シェルビー 他

【医療系学校】

青森県立保健大学健康科学部社会福祉学科、青森県立保健大学健康

科学部看護学科、八戸看護専門学校看護学科、日赤秋田看護大学看護学部看護学科、宮城学院女子大学生活科学部食品栄養学科、日本医療科学大学保健医療学部診療放射線学科、国際医療福祉大学理学療法学科、東北文化学園専門学校視能訓練士学科 他

進学も就職も頑張っています



筑波大学芸術専門学群合格

山端 綾乃さん（美術コース／白銀中）
写真左が山端さん。右は担任の藤澤教諭。

【山端さんの声】

合格できたのは、美術コースでの3年間はあったからです。行き詰まることもありましたが、先生方のご指導の下、乗り越えることができました。支えて下さった方々に感謝しています。



八戸広域消防(消防士初級)内定

澤田 雄太君（カレッジコース／階上中）
写真右が澤田君。左は担任の三上教諭。

【澤田君の声】

家族、友人、先生方、たくさんの人に支えられて合格することができました。感謝の気持ちを忘れずに、一人前の消防士になることができるよう努力していきたいと思っています。本当にありがとうございました。

青森県高校生議会参加のためのワークショップ



平成29年2月に青森県庁で行われる「青森県高校生議会」に2学年の生徒が参加することが決定した。これは、青森県選挙管理委員会

が主催して初めて開かれるもので、青森県内の5高校の生徒達が、青森県活性化のための意見発表や政策提案を実施するもの。これに伴い11月12日、青森中央学院大学の佐藤淳准教授を講師に迎え「20年後の地域の未来を考える」と題してワークショップを開催した。保護者や地元企業、八戸青年会議所のメンバーの方々や卒業生、八戸工業大学の関係者などにご協力いただき、高校生と大人合わせて132名が、地域で生きる自分自身の将来について考えを深めた。さらに、美術コースの生徒が、話し合いの内容をその場でイラストにまとめていく「グラフィックハーベスティング」にも挑戦し、意見をわかりやすく描き上げ、ワークショップを盛り上げた。

中庭に憩いを

～40周年記念事業・ウッドデッキ完成～

このたび創立40周年記念事業の一環として、中庭にウッドデッキが設置された。一辺約7mのスクエア型のデッキには、テーブル、椅子と日よけのパラソルが用意されている。二高生ならば誰でも利用でき、昼食時や行事の際に利用することを想定している。来春以降、生徒たちが憩いの場として愛着を持って利用してくれることを期待している。



●^{ケーゼロ}K-0運動 岩泉町訪問

12月24日、生徒会を中心とした25名の生徒が岩泉町を訪れ、現地のNPOが主催するイベント「サンタが100人やってきた！ in 岩泉」に参加した。岩泉町は8月に発生した台風10号で大きな被害が出た地域であり、町にはいまだに被害の爪痕が残されている。当日は現地のボランティアスタッフの方と協力し、子ども達と交流会をしたりプレゼントを手渡したりと終始和やかな雰囲気ですべての生徒と楽しいひとときを過ごした。生徒会長の田中惇貴君（カレッジコース2年／百石中）は、「岩泉町でこれほど大きな被害が出て、復興があまり進んでいないことを知らずにいたので、実際に見てみて正直驚いた。自分たちができることは多くはないけれど、今回体験したことを少しでも周囲に伝え、支援の輪が広がってくれば嬉しい」と語っていた。



ボランティア活動

●B-1グランプリスペシャルで八戸PR



12月3日・4日、東京お台場の臨海副都心で開催されたB-1 グランプリスペシャルに5名の生徒がボランティアとして参加した。今回の大会は自治体のPR合戦というスタイルで運営され、八戸からは本校OBである木村聡所長が率いる八戸せんべい汁研究所が主体となって「八戸市」を売り込んできた。公募された「八戸Tシャツ」のデザインで採用された阿部愛加さん（美術コース3年／白山台中）もPR隊としてボランティアに加わり、八戸市は見事5位入賞を果たした。

壁があったら… 島 康子氏講演会



12月14日、「壁があったら、穴を開けろ！」と題して、大間町でまちおこしゲリラ集団「あおぞら組」を結成し、「おもしろがる心」で地域を元気にする試みに挑戦しているYプロジェクト(株)社長の島康子さんによる講演会を開催した。島さんは、旗振りウェルカム隊、「マグロー筋」Tシャツ、マグロのぼりなどのエピソードをユーモアたっぷりに紹介した。最後は「走りながら考えろ」「ホンキになれば、必ず誰かが助けてくれる」など、生徒たちに熱いエールを送った。

1 学年キャリアサポート

未来の見つけ方

11月12日、1年生241名が青森県総合社会教育センター主催のキャリアサポートを受講した。これは大学生が高校を直接訪問し「自分について考える・



知る」きっかけをグループワークを通じて行うもの。今回は弘前大学や青森県立保健大学など青森県内の大学から70名の大学生が来校した。全て大学生が考えた企画で構成され、アイスブレイクで打ち解けあい、その後のワークシートを使った自己紹介で絆を深めた。さらに学習面や部活、挫折や成功の体験を含めた応援メッセージがプレゼン形式で紹介され、生徒たちにとっては大学生活を身近に感じるだけでなく、将来を考える有意義な時間となったようだ。

第31回美術コース作品展

12月16日～18日、第31回美術コース作品展が開催された。今年は八戸市美術館と八戸ポータルミュージアム「はっち」のシアター1に会場を分け、美術コースの生徒113名が制作した約220点の作品を披露した。八戸市美術館には、卒業制作を中心に1年生から3年生までの油絵、デザイン、イラスト、立体など各自の専攻分野の作品に加え、各種のコンク

ールで受賞した作品や卒業生の賛助作品を展示。「はっち」には100号の油絵やテキスタイル作品、動物モニュメン



トが展示され来場者の目を楽しませた。3日間の来場者数は2会場合わせて1750名。今回も盛況のうちに終了した。

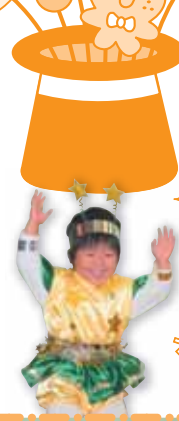


はっぴょうかい

年長 遊戯「前略、道のしより」



皆で力強く「ソイヤ!ソイヤ!!」



年少 遊戯「風も雪もともだちだ」



「サンタさんみたいでしょ♪」

年中 遊戯
「はなまるびっぴは よいこだけ」



「シェー!!のポーズで決めっ!」

「ひらけ〜!
ごま!」



全園児 アトラクション



「サンタさん、
プレゼントありがとう♡」

年長 劇「アリババと40人の盗賊」



12月8日(木)、9日(金)の二日にわたって行われたクリスマス会。
ホールには、子どもたちの出番を今か今かと待ちわびる
多くの家族の姿が見られた。年少組の楽器あそびと歌から始まった。
トップバッターで緊張しているのではと心配したが、
練習時より元気いっぱいだった。それに引っ張られるように、
それぞれの演目に合わせた衣装に身を包み、精一杯の表現をしていた
子どもたち。約束通り幕が閉まるまで動かない子どもたちに
惜しみない拍手が送られた。
帰りは、サンタさんから一人一人プレゼントをもらい、
やりきった満足感に足取りも軽く帰っていった。
いい夢を見られたかな。



楽しい登園のひととき

同い年でいとお互になる2人の孫が入園して半年以上が経ちます。仕事で時間のとれない娘達に協力しようと、幼稚園の送り迎えを私達夫婦で担当しています。それぞれに動き回る2人の孫にてんやわんやの日々ですが、離れられずに泣いていた孫娘も今では園の門まで来ると「ここでもいいから」と1人でスタスタと歩いて行き、私達は後姿に「行ってらっしゃい」と声をかけます。徒歩での10分間の道のりは、入園当初は長かったようですが、途中白ねこを追いか

けたり、野草をとって毛虫だとふざけ合ったりと、2人共歩くのはまんざらでもなさそうです。道中いろいろな話をし、園での生活を垣間見ることが出来安心します。又、毎日いろいろな物を作って持ち帰り、園では自由に工作させてくれていると感心しています。数十年前、孫の母である娘が入園した同じ幼稚園に入るのも何かのご縁と感じています。



(たんぽぽ組 前澤大心くん
すみれ組 花岸愛奈ちゃんの おばあちゃん)
前澤 三枝子さん



ようちえんってこんなところ



～お店屋さんごっこ～

「おいしいおでん、いかがですか？」



「ゆれる～！ゆれる～！！」

(地震体験コーナー)

「年長ちびっ子防災広場」



～焼き芋会～

「やきたてのおいも、あまくておいしいね」



とらんぽりん

～ある日の保育日誌～



満3歳いちご組
10月26日(水)

天気にも恵まれた秋晴れの下での焼き芋会。朝から「いも、もってきたよ」と張り切っていた子どもたちは、バスの中でも「やきいも♪ やきいも♪ おなかのグー・・・♪」と楽しそうに歌っていた。日頃、野菜を食べない子も外で皆と食べるお芋は格別だったようで、友達と並んでもりもり食べていた。一口食べて「お腹いっぱい」と言う子もいたが、園に戻ると「おいしかったね」と言うなど、好き嫌いのある子にとっても今日は楽しい一日だったようだ。



「しんぶんしあそび
たのしいね♪」

年少組 11月18日(金)

「今日は、お店屋さんごっこだね」「楽しみ」と始まりを心待ちにしていた子どもたち。品物を見て回ると、「これ欲しい、これ買う」と買うものを決めていた。開始の放送が流れるや一斉に年中・年長の組へ向かっていき、好きなものを買うことができたことと喜んで戻ってきた。前半に売り手の様子を見ることが出来たので、大きな声で「いらっしゃいませ」「ありがとうございます」が言えた。売り手、買い手の両方を経験し、絵本袋いっぱいの品物に満足顔で降園していった。

年中組 10月14日(金)

今日は、今年度二回目の保育参観だった。“ポンポンくらげ”を作り、親子で遊んだ。初めは丁寧に作っていた子どもたちだったが、後半は焦った気持ちから若干雑になった子もいた。一人一人のペースは違うが、個性豊かなくらが完成し、ホールで遊ぶ表情も楽しそうだった。幼稚園で家族と遊ぶという機会はめったにないので、貴重な時間を過ごすことができた。帰ってからまた一緒に遊んでいる子どもたちの姿が思い浮かぶ。



～年長 飛行機見学～
(海上自衛隊)
「自衛隊の消防車、出動!!」

年長組 10月27日(木)

来週のお店屋さんごっこの準備も整ったので、ホールでの運動遊びの後、自由に遊んでもいいことを伝えたと大喜びの子どもたち。久々のカラー積木やマルチパネで夢中になって遊んでいた。縄跳びを続ける女の子たちに、長縄を出していると声を掛けると、役割分担をし、順番に楽しむ姿が見られた。「もうひとき」と励ましてきた子が、家でも練習したと言って、あっという間に連続して跳べるようになっていた。やる気が結果につながったことをたくさんほめた。



理事会

学校法人八戸工業大学は、下記のとおり理事会を開催して各案件について審議を行い、それぞれ原案通りに承認した。

◇10月26日 理事会

- ・「八戸工業大学図書館規程」改正に関する件

◇11月18日 理事会

- ・「八戸工業大学図書館夜間・休日開館学生スタッフ規程」制定に関する件

◇12月16日 理事会

- ・「学校法人八戸工業大学 育児・介護休業等に関する規程」改正に関する件
- ・「八戸工業大学学修支援室相談補助員規程」改正に関する件

表 紙：平成28年度八戸工大二高SCクラス階上岳強歩登山 山頂にて(2016.10.1)
裏表紙：八戸工大二高サッカー部(男子・女子)練習風景